

令和7年 上半期
火災・救急・救助統計

松山市消防局

目 次

第1	火災の概況	1
1	火災件数	1
2	火災による損害	1
3	死傷者数	1
4	出火原因別の火災発生状況	2
5	損害額	3
6	近年の火災状況	3
7	地区別の件数	4
8	地区別件数の推移	5
9	住宅用火災警報器の奏功事例	6
第2	救急の概況	7
1	救急出動件数・搬送人員の状況	7
2	医療機関別搬送状況	8
3	事故種別・傷病程度別搬送人員の状況	8
4	応急処置実施状況	9
5	地区別救急発生状況	10
第2	救助の概況	11
1	救助出動等の状況	11
2	発生時間別の出動状況	12
3	地区別救助出動状況	13

火

災

第1 火災の概況

令和7年上半期（1月～6月）の火災概況は、火災件数76件、損害額4,985万5千円、死者2人、負傷者17人となっています。

1 火災件数

令和7年上半期（1月～6月）の火災件数は76件で、前年同期（52件）と比べ24件増えています。

（▲は減少）

		令和7年	令和6年	前年同期比
火災件数		76	52	24
種別	建物火災 （住宅火災）	58 (35)	38 (25)	20 (10)
	林野火災	0	0	0
	車両火災	2	3	▲1
	船舶火災	0	0	0
	航空機火災	0	0	0
	その他の火災	16	11	5

※その他の火災は、田畑や河川敷の枯草、屋外に放置された物件などが燃えた火災です。

2 火災による損害

令和7年上半期（1月～6月）の火災での損害状況は次表のとおりです。

（▲は減少）

		令和7年	令和6年	前年同期比
焼損棟数	合計	72	50	22
	全焼	6	6	0
	半焼	6	3	3
	部分焼	14	10	4
	ぼや	46	31	15
り災世帯数		52	39	13
建物焼損床面積（㎡）		688	797	▲109
建物焼損表面積（㎡）		58	87	▲29
林野焼損面積（a）		0	0	0
損害額（千円）		49,855	54,523	▲4,668

3 死傷者数

令和7年上半期（1月～6月）の火災での死者は2人で、前年同期（0人）と比べ2人増えています。また、火災での負傷者は17人で、前年同期（12人）と比べ5人増えています。

（▲は減少）

	令和7年	令和6年	前年同期比
死者	2	0	2
負傷者	17	12	5

4 出火原因別の火災発生状況

令和7年上半期(1月～6月)の火災76件を出火原因別にみると、
「こんろ」が14件(18.4%)、
「たばこ」が13件(17.1%)、
「たき火」が9件(11.8%)です。

(▲は減少)

	令和7年	令和6年	前年同期比
こ ん ろ	14	6	8
た ば こ	13	5	8
た き 火	9	4	5
ス ト ー ブ	6	2	4
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	5	3	2
電 気 機 器	3	6	▲ 3
灯 火	3	1	2
放 火	2	2	0
配 線 器 具	2	1	1
溶 接 機 ・ 切 断 機	2	0	2
火 入 れ	2	0	2
放 火 の 疑 い	1	2	▲ 1
排 気 管	1	1	0
焼 却 炉	1	0	1
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	1	0	1
内 燃 機 関	1	0	1
こ た つ	1	0	1
取 灰	0	2	▲ 2
電 気 装 置	0	1	▲ 1
火 あ そ び	0	1	▲ 1
そ の 他	8	11	▲ 3
不 明 ・ 調 査 中	1	4	▲ 3
合 計	76	52	24

5 損害額

令和7年上半期（1月～6月）の火災での損害額は4,985万5千円で、前年同期（5,452万3千円）と比べ466万8千円減少しています。

（▲は減少）

	令和7年 (千円)	令和6年 (千円)	前年同期比 (千円)
損 害 額	49,855	54,523	▲ 4,668
建 物	47,444	54,183	▲ 6,739
林 野	0	0	0
車 両	1,669	249	1,420
船 舶	0	0	0
航 空 機	0	0	0
そ の 他	742	91	651
爆 発	0	0	0

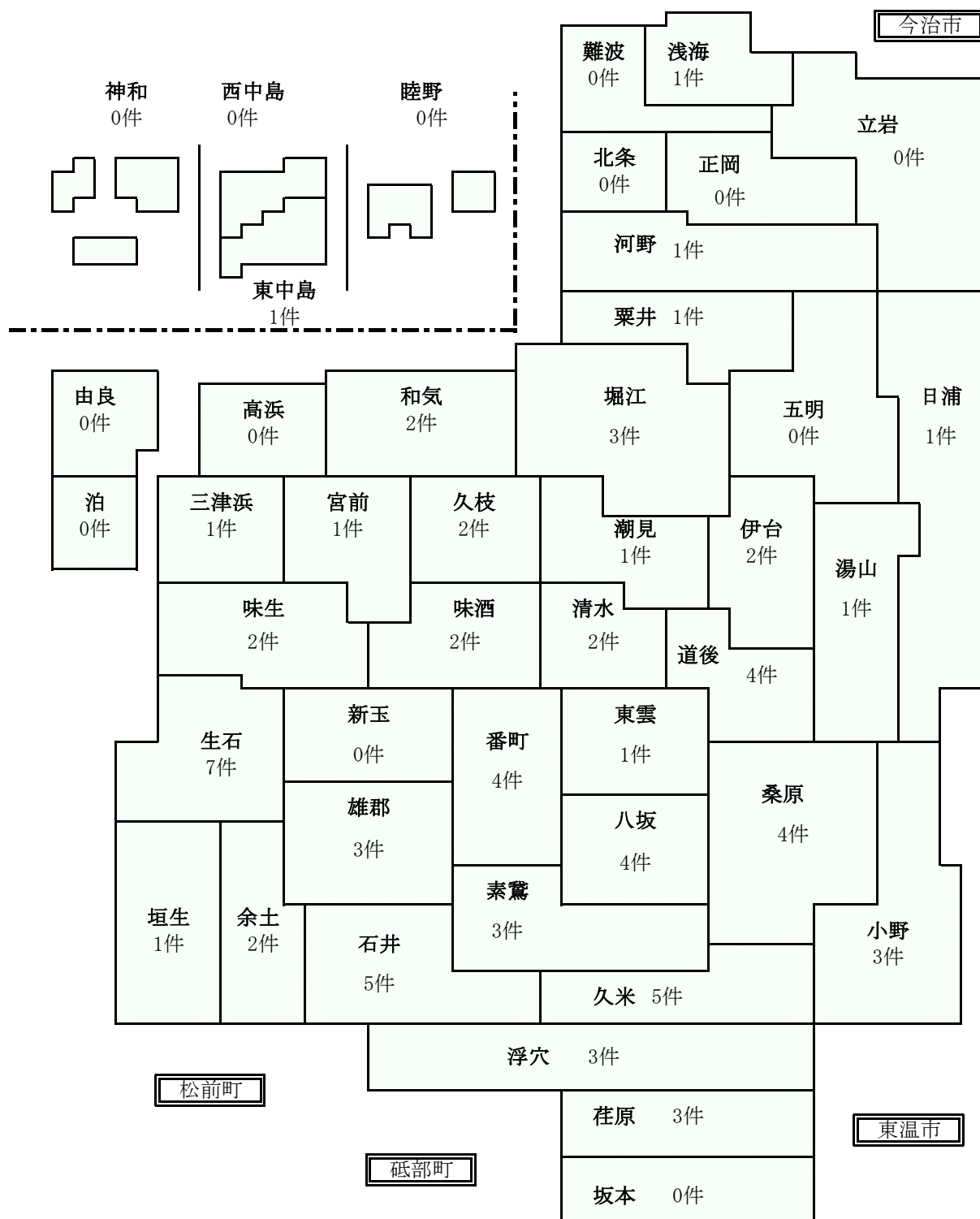
6 近年の火災状況

近年の上半期（1月～6月）の火災状況は次表のとおりです。

	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年	平均
火災件数 (件)	76	52	63	76	60	65.4
焼損棟数 (棟)	72	50	49	82	62	63.0
死者 (人)	2	0	4	5	2	2.6
負傷者 (人)	17	12	8	14	28	15.8
り災世帯数 (世帯)	52	39	31	63	47	46.4
り災人員 (人)	103	80	73	128	87	94.2
損害額 (千円)	49,855	54,523	13,295	92,282	117,739	65,539

7 地区別の件数

火災件数を地区別にみると、生石が7件、久米と石井が5件の順です。



8 地区別件数の推移

(各年上半期)

	令和7年	令和6年	令和5年	令和4年	令和3年
番町	4	2	3	6	1
東雲	1	2	4	3	3
八坂	4	1	2	0	2
素鷲	3	2	0	1	3
雄郡	3	2	2	3	3
新玉	0	3	1	1	1
味酒	2	2	1	1	1
清水	2	2	5	7	0
桑原	4	4	2	1	0
道後	4	2	3	3	1
味生	2	1	6	1	2
生石	7	2	5	4	2
垣生	1	0	0	1	0
宮前	1	3	3	2	0
三津浜	1	1	0	0	0
高浜	0	1	1	1	3
久枝	2	0	3	1	2
潮見	1	1	2	2	6
和気	2	3	0	2	3
堀江	3	0	1	2	2
余土	2	1	3	2	3
由良	0	0	0	0	1
泊	0	0	0	0	1
久米	5	3	2	3	2
湯山	1	0	2	0	0
日浦	1	1	1	0	1
伊台	2	1	0	1	2
五明	0	0	0	1	0
小野	3	0	3	3	4
浮穴	3	1	1	1	1
石井	5	4	3	8	4
荏原	3	4	1	2	1
坂本	0	0	0	1	0
浅海	1	1	0	1	2
立岩	0	0	0	1	0
難波	0	1	0	1	1
正岡	0	0	0	1	0
北条	0	0	0	1	0
河野	1	0	2	3	0
栗井	1	0	1	2	2
睦野	0	1	0	0	0
東中島	1	0	0	0	0
西中島	0	0	0	1	0
神和	0	0	0	1	0
合計	76	52	63	76	60

※松山市基準地区（44地区）

9 住宅用火災警報器の奏功事例

【事例1】近隣住民が警報音に気づき、被害を最小限に抑えた事例①

近隣住民が住宅から警報音が鳴っているのに気づき、119番通報した。
その後、居住者が帰宅し、速やかに初期消火し、被害を最小限に抑えられた。

【事例2】火元住人が警報音に気づき、被害を最小限に抑えた事例②

火元住人が警報音が鳴っているのに気づき、洗面所を確認し、洗面台付近が燃えているのを発見。速やかに初期消火し、被害を最小限に抑えられた。

【事例3】住人が警報音に気づき、火災を未然に防いだ事例①

住人が警報音が鳴っているのに気づき、台所を確認し、電子レンジから煙が出ているのを発見。電子レンジを止めて煙が収まり、火災を未然に防げた。

【事例4】住人が警報音に気づき、火災を未然に防いだ事例②

住人が警報音が鳴っているのに気づき、台所を確認し、ガスこんろの火にかけたままの鍋から煙が出ているのを発見。ガスこんろの火を止め、火災を未然に防げた。

【事例5】火元住人が警報音に気づき、初期消火に成功した事例①

火元住人が警報音が鳴っているのに気づき、台所を確認し、ガスこんろの火が周囲の収容物に燃え移っているのを発見。速やかに初期消火し、被害を最小限に抑えられた。

- 住宅用火災警報器は、火災を早期に発見し、「初期消火」「避難」「119番通報」をいち早く行うことができ、被害の軽減に役立ちます。適切な設置と維持管理を行いましょう。
- 住宅用火災警報器は、古くなると電池切れや、故障する可能性があります。日頃から正常に作動するか確認し、10年を目安に交換しましょう。
- 作動確認や設置場所などの詳しい情報は、松山市ホームページの「住宅用火災警報器」を確認ください。
- 日頃から、火気の取り扱いには十分注意し、火災予防を心がけましょう。

救 急

第2 救急の概況

松山市の令和7年上半期（1～6月）の救急出動件数は15,201件、搬送人員は13,975人で、前年同期と比べ出動件数と搬送人員とも増えています。一日平均約84件、約17分9秒に1回の割合で救急車が出動し、市民約35人に1人の割合で搬送されたことになります。

1 救急出動件数・搬送人員の状況

事故種別は、急病、一般負傷、転院搬送、交通事故の順で、この4種別、出動件数と搬送人員とも全体の約96～98%を占めています。

（▲は減少）

区分	単位	令和7年	構成比(%)	令和6年	構成比(%)	増減
出動件数	件	15,201	100.0	14,685	100.0	516
内訳	火災	50	0.3	41	0.3	9
	自然	0	0.0	2	0.0	▲ 2
	水難	4	0.0	3	0.0	1
	交通	1,036	6.8	1,026	7.0	10
	労災	95	0.6	81	0.6	14
	運動	79	0.5	89	0.6	▲ 10
	一般	2,192	14.4	2,123	14.5	69
	加害	58	0.4	36	0.2	22
	自損	109	0.7	132	0.9	▲ 23
	急病	9,627	63.3	9,172	62.5	455
	転院	1,811	11.9	1,829	12.5	▲ 18
	その他	140	0.9	151	1.0	▲ 11
搬送件数	件	13,915	—	13,327	—	588
搬送人員	人	13,975	100.0	13,395	100.0	580
内訳	火災	13	0.1	8	0.1	5
	自然	0	0.0	2	0.0	▲ 2
	水難	2	0.0	1	0.0	1
	交通	952	6.8	942	7.0	10
	労災	96	0.7	79	0.6	17
	運動	78	0.6	89	0.7	▲ 11
	一般	2,071	14.8	1,966	14.7	105
	加害	46	0.3	30	0.2	16
	自損	90	0.6	94	0.7	▲ 4
	急病	8,825	63.1	8,370	62.5	455
	転院	1,802	12.9	1,814	13.5	▲ 12
	その他	0	0.0	0	0.0	0
出動平均(1日)	件	84.0		80.7		
出動間隔		17分9秒		17分51秒		

（注1）出動平均は、前年比1日あたり3.3件増えています。

（注2）出動間隔は、前年比42秒短くなっています。

（注3）構成比は、合計しても100%にならない場合があります。

2 医療機関別搬送状況

医療機関への搬送状況は、救急医療機関12,849人(91.9%)、その他の医療機関1,126人(8.1%)、その他の場所0人です。

事故種別等 告示の別等	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
救急医療機関	8,135	913	2,006	1,795	12,849
その他の医療機関	690	39	65	332	1,126
その他の場所	0	0	0	0	0
合計	8,825	952	2,071	2,127	13,975

(注) 救急医療機関は、厚生省令で救急告示を受けている医療機関

3 事故種別・傷病程度別搬送人員の状況

傷病程度別は、死亡178人(1.3%)、重症464人(3.3%)、中等症5,195人(37.2%)、軽症8,138人(58.2%)で、軽症の占める割合が多いです。

	火災	自然	水難	交通	労災	運動	一般	加害	自損	急病	その他	合計
死亡	0	0	1	5	0	0	11	1	10	150	0	178
重症	2	0	1	21	3	0	25	0	13	345	54	464
中等症	1	0	0	101	29	10	620	4	17	2,680	1,733	5,195
軽症	10	0	0	825	64	68	1,415	41	50	5,650	15	8,138
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	13	0	2	952	96	78	2,071	46	90	8,825	1,802	13,975

(傷病程度)

死亡 初診時に、死亡が確認されたもの

重症 傷病の程度が3週間以上の入院加療が必要なもの

中等症 傷病の程度が入院を必要とし重症に至らないもの

軽症 傷病の程度が入院を必要としないもの

その他 搬送したが医師の診断がないものと「その他の場所」へ搬送したもの

4 応急処置実施状況

救急救命士などが行った救命処置は、263件です。

事故種別 応急処置	事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
	応急処置対象人数	8,821	952	2,070	2,100	13,943
止血		21	26	124	22	193
被覆		47	251	513	66	877
固定		17	127	112	49	305
保温		206	6	26	42	280
酸素吸入		1,560	22	89	557	2,228
人工呼吸のみ実施		7	0	0	2	9
胸骨圧迫のみ実施		7	0	0	2	9
● うち自動心臓マッサージ器使用		3	0	0	0	3
心肺蘇生（胸骨圧迫・人工呼吸）		253	6	15	20	294
● うち自動心臓マッサージ器使用		77	2	5	1	85
気道確保		317	11	27	21	376
● うち経鼻エアウェイ		4	0	0	1	5
● うち喉頭鏡・鉗子等		5	0	7	0	12
●◎ うちラリングアルマスク等		79	3	2	2	86
●◎ 気管挿管		3	0	3	0	6
● 在宅療法継続		33	0	3	1	37
● ショックパンツ		0	0	0	0	0
●◎ 除細動		7	0	0	0	7
●◎ 静脈路確保		77	6	3	2	88
うち心肺停止前（ブドウ糖含む）		21	2	0	1	24
うち心肺停止後		56	4	3	1	64
●◎ 薬剤投与		16	0	0	0	16
アドレナリン投与		7	0	0	0	7
エピペン投与		0	0	0	0	0
ブドウ糖投与		9	0	0	0	9
●◎ 血糖測定		57	1	2	0	60
● 血圧測定		8,265	922	1,951	1,987	13,125
● 聴診器		983	36	63	79	1,161
● 血中酸素飽和度の測定		8,542	941	2,033	2,065	13,581
● 心電図		2,288	31	68	284	2,671
その他		251	16	59	59	385
合計		22,954	2,402	5,088	5,258	35,702
● 拡大された応急処置等		20,439	1,942	4,140	4,422	30,943
◎ 特定行為等		239	10	10	4	263

（注）

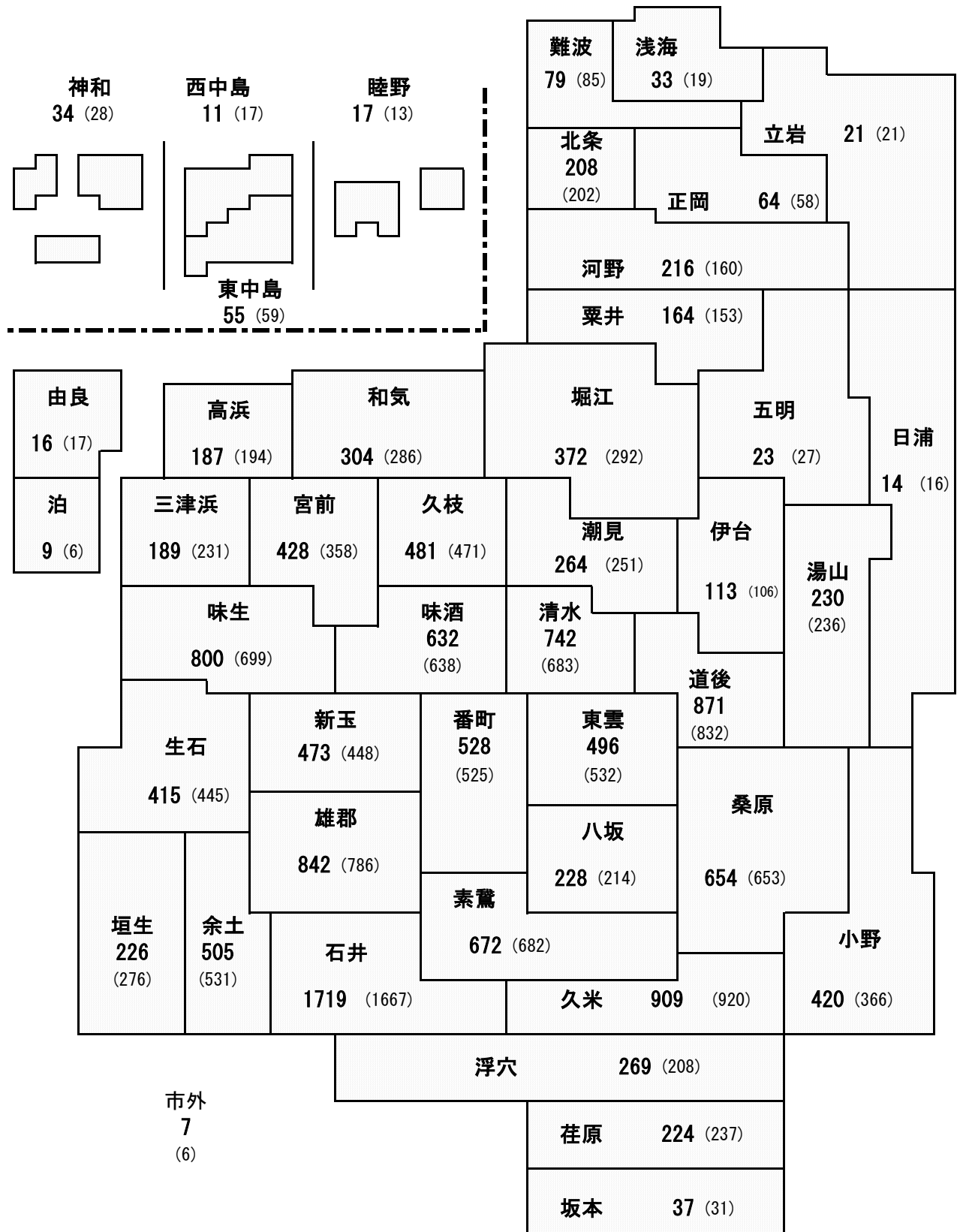
「●」とは、拡大された応急処置の項目

「◎」とは、救急救命士が行う特定行為の項目

5 地区別救急発生状況

出動件数 1 5, 2 0 1 件 (前年 1 4, 6 8 5)

() 内は前年同期の発生状況



救 助

救助の状況

令和7年上半期（1～6月）の救助出動件数は113件（前年111件）、活動件数は88件（前年82件）で、前年と比べると出動件数は2件（1.8%）、活動件数は6件（7.3%）増えています。

また、救助人員は78人（前年68人）で、前年と比べると10人（14.7%）増えています。

1 救助出動等の状況

（▲は減少）

区 分		令和7年 A	令和6年 B	増減（A－B） C	増減率 $C/B \times 100$ (%)
出 動 件 数		113	111	2	1.8
活 動 件 数		88	82	6	7.3
救 助 人 員		78	68	10	14.7
	内 訳				
	男性	42	38	4	10.5
	女性	36	30	6	20.0
出 動 台 数		565	590	▲ 25	▲ 4.2
出 動 人 員		1,852	1,912	▲ 60	▲ 3.1
事 故 種 別 出 動 件 数	火 災	6	5	1	20.0
	交 通	26	28	▲ 2	▲ 7.1
	水 難	3	3	0	0.0
	自 然 災 害	1	0	1	—
	機 械	1	1	0	0.0
	建 物	46	46	0	0.0
	ガ ス ・ 酸 欠	1	1	0	0.0
	破 裂	0	0	0	—
	そ の 他	29	27	2	7.4

（注）火災の出動件数は、救助活動した件数を計上しています。

2 発生場所別の出動状況

発生場所別に出動の状況をみると屋内が60件（53.1％）、屋外は48件（42.5％）、その他が5件（4.4％）です。

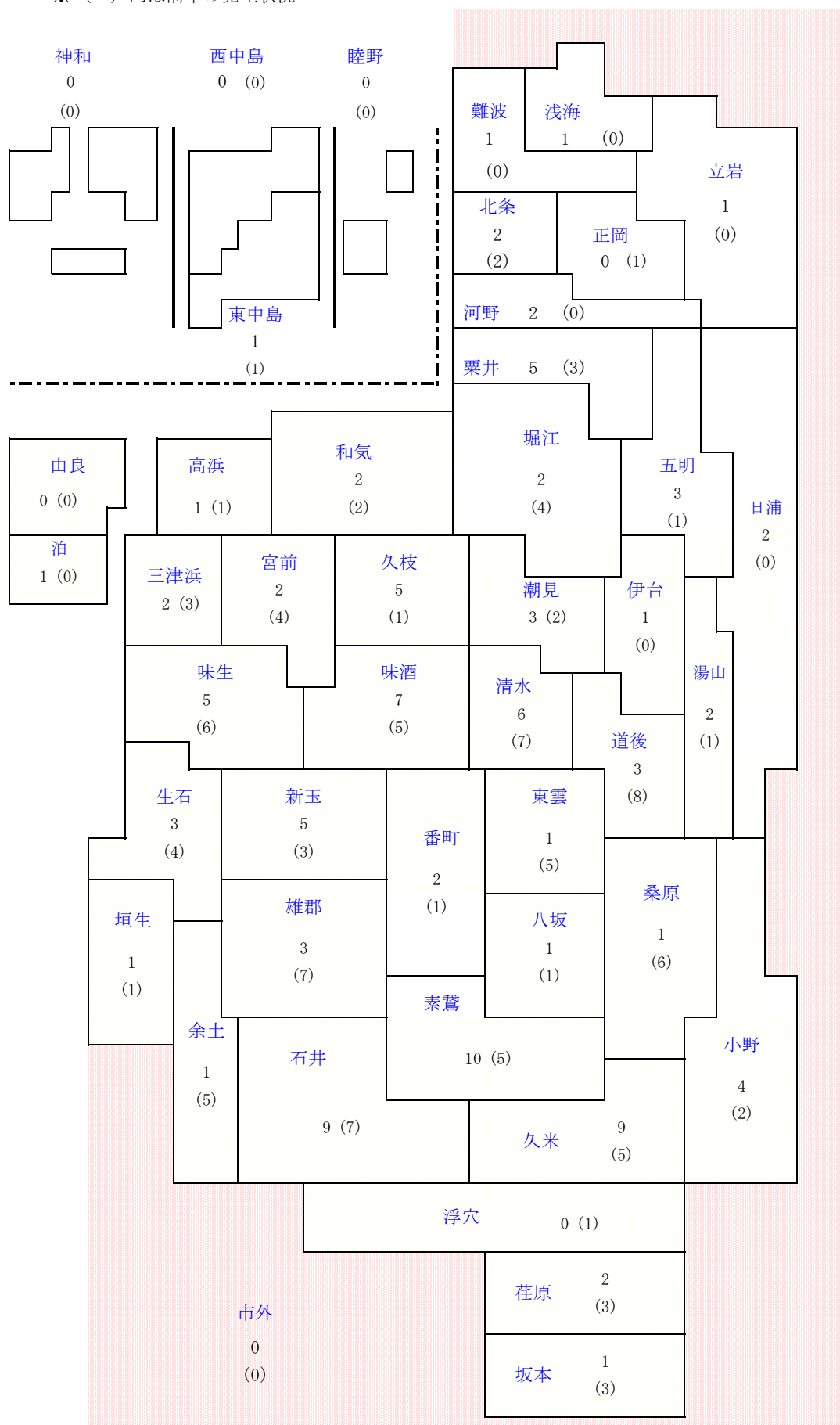
事故種別 発生場所別		火 災		交 通	水 難	自 然	機 械	建 物	ガ ス・ 酸 欠	破 裂	そ の 他	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内		6						46			8	60
		1						29			3	33
	住 居	5						43			8	56
		1						27			3	31
	その他の屋内	1						3				4
								2				2
屋 外				25	3		1		1		18	48
				20	3		1		1		13	38
	高 速 道 路											0
												0
	その他の道路			20								20
				17								17
	内 水 面			2	2						2	6
				1	2						1	4
	外 水 面				1							1
					1							1
	山 岳										3	3
											2	2
	その他の屋外			3			1		1		13	18
				2			1		1		10	14
地 下												0
												0
そ の 他			1		1						3	5
			2								5	7
合 計	6	0	26	3	1	1	46	1	0	29	113	
	1	0	22	3	0	1	29	1	0	21	78	

(注) 救助人員数

3 地区別救助出動状況

出動件数 113件 (前年 111件)

※ () 内は前年の発生状況



【全国的に大規模な山火事が発生しています】

林野に立入る際は、次のことに注意してください。

- 強風時や乾燥時は、たき火や火入れをしないこと。
- 火気を使う場合は、周囲に可燃物がない場所で、消火準備を必ず行うこと。
- 火気を使用した後は、完全に消火すること。
- たばこのポイ捨てはしないこと。
- 火遊びはしないこと。また、させないこと。

令和7年 上半期 火災・救急・救助統計

火災統計に関するお問合せは

松山市消防局予防課

TEL: (089)926-9247 FAX: (089)926-9163

E-mail: sbyobou@city.matsuyama.ehime.jp

救急統計に関するお問合せは

松山市消防局救急課

TEL: (089)926-9227 FAX: (089)926-9187

E-mail: sbkyukyu@city.matsuyama.ehime.jp

救助統計に関するお問合せは

松山市消防局警防課

TEL: (089)926-9220 FAX: (089)926-9188

E-mail: sbkeibou@city.matsuyama.ehime.jp